

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190300238		
法人名	九州メディカル・サービス株式会社		
事業所名	グループホーム安心とどろきⅡ		
所在地	佐賀県鳥栖市轟木町1474番地2		
自己評価作成日	令和6年12月24日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市天神1丁目4-15		
訪問調査日	令和7年3月7日	外部評価確定日	令和7年4月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

○令和5年6月に1ユニットから2ユニットを増床して3ユニット運営となり、夏祭りや敬老会等施設行事では合同行事を開催する等日常と非日常が楽しめる環境を目指しています。

○協力医療機関との医療連携により、ご利用者の健康管理や急変時の迅速な対応が出来、安心して生活して頂けます。

○ご利用者が暮らしやすい明るく和やかな環境を作るために、職員間の意見交換や共通認識、コミュニケーションを図る場を多く設けると共に、研修(内部・外部)勉強会等へ参加を行い、職員一人一人のキャリアアップに努めサービスの質の向上を目指しています。

○ご家族に安心して頂けるように、日々の生活状況の写真を撮り、毎月送付したり施設内に掲示して、ご家族に日常の様子をお知らせして信頼を得られるように努めています。

○管理者をはじめ、認知症ケアの知識を有し、それを職員が実践出来る環境を目指しています。入居者の精神状況が不安定になっても内服調整を第一選択とせず、人との関わりでBPSD(行動心理症状)緩和を目指すことで、その人らしい暮らしを支援しています。

○施設内で生活リハビリを実施しており、ご利用者の自立支援を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

母体は病院で多くの事業所を所有されている。周囲は神社、公民館、住宅があり交通量は多いがホーム内に騒音は感じない。当時は1ユニットであったがその後地域の需要が多く3ユニットに増設されている。開設当時より電話の問い合わせも多く満床となる。経験豊富な管理者と有資格者が多く安定した支援で利用者は穏やかに、楽しく過ごされている姿が伺える。職員の中に1年程前からミャンマーからの女性職員が2名在籍している。職員は雑談を交えよく指導している。真面目で勤勉であると評判も高く、夜勤も出来る様になった。管理者の他に男性職員1名もおり、心強く、チームワークも良く働き易い。隣接する有料老人ホームの境に理事長が寄贈されたお地蔵様が祀られ訪問者を迎えている。理事長は地域に貢献する事を目的とし、管理者は医療と介護の両立を目指し職員と団結しケアに努めている。利用者の中に朝からエプロンを身につけ来客者にお茶の接待をされる方がいる。エプロンは職員からプレゼントされたものである。利用者に寄り添い出来る事を支援する事業所である。

自己評価および外部評価結果

【セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。】

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名／A)	自己評価(ユニット名／B)	自己評価(ユニット名／C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時に理念の唱和と確認を行っている。勉強会や会議等で話し合いを通じて理念の説明や認識の共有を図りながら実践を心がけている。	朝礼時に理念の唱和と確認を行っている。勉強会や会議等で話し合いを通じて理念の説明や認識の共有を図りながら実践を心がけている。	朝礼時に理念の唱和と確認を行っている。勉強会や会議等で話し合いを通じて理念の説明や認識の共有を図りながら実践を心がけている。	理念は職員で考案されたもので3ユニット共通である。朝礼室にも掲示されている。申し送りは合同で行い常に意識され理解されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	天候の良い日は施設周辺の散歩に出かけている。また、定期的に外出レクを企画したり、地域行事への参加を試みている。近隣小学校との交流、地域のイベント(作品展示会)への参加、消防訓練を地域住人と実施したり、河川掃除等の地域行事にも参加している。	天候の良い日は施設周辺の散歩に出かけている。また、定期的に外出レクを企画したり、地域行事への参加を試みている。近隣小学校との交流、地域のイベント(作品展示会)への参加、消防訓練を地域住人と実施したり、河川掃除等の地域行事にも参加している。	天候の良い日は施設周辺の散歩に出かけている。また、定期的に外出レクを企画したり、地域行事への参加を試みている。近隣小学校との交流、地域のイベント(作品展示会)への参加、消防訓練を地域住人と実施したり、河川掃除等の地域行事にも参加している。	町内行事の区長さんの声掛けで年2回の河川清掃に参加し、多くの地域の方と顔を合わせる事が出来ている。町内の文化祭に見学に行っている。学校との交流も行われている。野菜を頂く事もあり利用者は仕分けをされる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症や権利擁護の内部研修実施や外部研修に参加してスキルアップを図っている。運営推進会議で毎月行っている勉強会(内部外部研修)内容の報告を行い地域代表や民生委員の理解を得ることを目指している。	認知症や権利擁護の内部研修実施や外部研修に参加してスキルアップを図っている。運営推進会議で毎月行っている勉強会(内部外部研修)内容の報告を行い地域代表や民生委員の理解を得ることを目指している。	認知症や権利擁護の内部研修実施や外部研修に参加してスキルアップを図っている。運営推進会議で毎月行っている勉強会(内部外部研修)内容の報告を行い地域代表や民生委員の理解を得ることを目指している。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度開催。ご家族や行政からの意見を議事録に記録して改善に努めている。ご家族の意見を発信する場になっており要望の収集や意見交換の場となっている。また、地域行事や地域との連携等の情報収集及び確認、地域課題把握の場としても活用している。	2か月に1度開催。ご家族や行政からの意見を議事録に記録して改善に努めている。ご家族の意見を発信する場になっており要望の収集や意見交換の場となっている。また、地域行事や地域との連携等の情報収集及び確認、地域課題把握の場としても活用している。	2か月に1度開催。ご家族や行政からの意見を議事録に記録して改善に努めている。ご家族の意見を発信する場になっており要望の収集や意見交換の場となっている。また、地域行事や地域との連携等の情報収集及び確認、地域課題把握の場としても活用している。	会議の案内は家族全員に案内され毎回多くの家族の参加がある。レジュメの配布とユニット別に日々の様子、行事の様子の写真を見てもらっている。参加者は多くの意見や要望があり詳しく説明されている。会議後は家族同士顔見知りとなり話が出来ている。議事録は家族にも配布されている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政主催の研修会(介護職員等基礎研修)への参加に努めている。また、運営推進会議への参加時に意見交換を行い良好な協力関係を保つ様に努めている。	行政主催の研修会(介護職員等基礎研修)への参加に努めている。また、運営推進会議への参加時に意見交換を行い良好な協力関係を保つ様に努めている。	行政主催の研修会(介護職員等基礎研修)への参加に努めている。また、運営推進会議への参加時に意見交換を行い良好な協力関係を保つ様に努めている。	相談事はホームで話し合い困難な時は法人や地域包括支援センターに相談し解決されている。行政から研修会の案内があり積極的参加している。空き情報の交換もある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化委員会を設置して、定期的に話し合いの場を設けている。また、計画的に研修会へ参加、勉強会を開催して、職員の理解及び意識付けに努めている。	身体拘束適正化委員会を設置して、定期的に話し合いの場を設けている。また、計画的に研修会へ参加、勉強会を開催して、職員の理解及び意識付けに努めている。	身体拘束適正化委員会を設置して、定期的に話し合いの場を設けている。また、計画的に研修会へ参加、勉強会を開催して、職員の理解及び意識付けに努めている。	外部やグループ内で研修がある。身体拘束の事例はない。特に日頃の声掛けには言葉使いが拘束になっていないか観察し、職員の行動が気になる際には管理者が指導されている。職員は拘束の禁止や弊害を理解し、拘束のないケアに努めている。玄関の施錠はない。	

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所での社内年間計画を作成して、高齢者虐待防止法についての勉強会を立案・実施している。管理者は職員のストレスケアに努め、個別の話し合いの場を設ける等工夫を行っている。	事業所での社内年間計画を作成して、高齢者虐待防止法についての勉強会を立案・実施している。管理者は職員のストレスケアに努め、個別の話し合いの場を設ける等工夫を行っている。	事業所での社内年間計画を作成して、高齢者虐待防止法についての勉強会を立案・実施している。管理者は職員のストレスケアに努め、個別の話し合いの場を設ける等工夫を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定期的に事業所内での勉強会の開催及び外部研修会に参加している。外部研修に参加した職員は施設勉強会で発表報告を行い情報共有を図り、職員一人一人が理解するための機会を設けている。	定期的に事業所内での勉強会の開催及び外部研修会に参加している。外部研修に参加した職員は施設勉強会で発表報告を行い情報共有を図り、職員一人一人が理解するための機会を設けている。	定期的に事業所内での勉強会の開催及び外部研修会に参加している。外部研修に参加した職員は施設勉強会で発表報告を行い情報共有を図り、職員一人一人が理解するための機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時及び解約・改正時の際は説明を十分に行い理解・納得を得られるように努めている。質問等があれば随時対応している。	契約時及び解約・改正時の際は説明を十分に行い理解・納得を得られるように努めている。質問等があれば随時対応している。	契約時及び解約・改正時の際は説明を十分に行い理解・納得を得られるように努めている。質問等があれば随時対応している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	受付カウンターに苦情・要望BOXを設置しており随時確認している。ご入居者やご家族の口頭による苦情や要望があった際は、報告書をまとめ職員休憩室に掲示して各自確認を行っている。	受付カウンターに苦情・要望BOXを設置しており随時確認している。ご入居者やご家族の口頭による苦情や要望があった際は、報告書をまとめ職員休憩室に掲示して各自確認を行っている。	受付カウンターに苦情・要望BOXを設置しており随時確認している。ご入居者やご家族の口頭による苦情や要望があった際は、報告書をまとめ職員休憩室に掲示して各自確認を行っている。	玄関に意見箱を置いているが意見が入ったことは無い。家族の意見は面会時や電話で聞き取りしている。現在面会は玄関で5分間としている。家族から時間の延長の願いがあるが、法人の指示である事を説明し理解されている。	

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月カンファレンスを実施して、職員の意見や提案を管理者を含め参加者全員で話し合い、運営に反映出来るよう努めている。また、課題がある場合は、その都度話し合いを行い対応している。	毎月カンファレンスを実施して、職員の意見や提案を管理者を含め参加者全員で話し合い、運営に反映出来るよう努めている。また、課題がある場合は、その都度話し合いを行い対応している。	毎月カンファレンスを実施して、職員の意見や提案を管理者を含め参加者全員で話し合い、運営に反映出来るよう努めている。また、課題がある場合は、その都度話し合いを行い対応している。	法人内の異動はあるが、職員の入れ替わりは少ない。職員からは備品等の要望が多く必要に応じて取り入れられる。今回ホットプレートを購入し利用者の楽しみになっている。外国人の職員ともコミュニケーションも良く働き易いと言う。管理者は法人の会議に参加しホームの現状を伝え改善につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は同法人内の会議にて現状報告を行っており、現場職員の意見は随時代表者・取締役へ報告している。また、質問や意見、改善提案等に関しても、その都度話し合いの場を設けるように努めている。	管理者は同法人内の会議にて現状報告を行っており、現場職員の意見は随時代表者・取締役へ報告している。また、質問や意見、改善提案等に関しても、その都度話し合いの場を設けるように努めている。	管理者は同法人内の会議にて現状報告を行っており、現場職員の意見は随時代表者・取締役へ報告している。また、質問や意見、改善提案等に関しても、その都度話し合いの場を設けるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は随時面談を行い、職員一人一人の力量の把握、希望時は資格取得のための支援を行っている。また、行政主催の研修会へ積極的に職員の参加を促し、カンファレンスや自施設での勉強会にて報告している。	管理者は随時面談を行い、職員一人一人の力量の把握、希望時は資格取得のための支援を行っている。また、行政主催の研修会へ積極的に職員の参加を促し、カンファレンスや自施設での勉強会にて報告している。	管理者は随時面談を行い、職員一人一人の力量の把握、希望時は資格取得のための支援を行っている。また、行政主催の研修会へ積極的に職員の参加を促し、カンファレンスや自施設での勉強会にて報告している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会等に参加したり、行政主催の研修会・行事に参加して同業者と交流を持ち、サービスの質の向上に努めている。	グループホーム連絡協議会等に参加したり、行政主催の研修会・行事に参加して同業者と交流を持ち、サービスの質の向上に努めている。	グループホーム連絡協議会等に参加したり、行政主催の研修会・行事に参加して同業者と交流を持ち、サービスの質の向上に努めている。		

自己 外部	項目	自己評価(ユニット名／A)	自己評価(ユニット名／B)	自己評価(ユニット名／C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
		実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、 本人が困っていること、不安なこと、 要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設見学の希望があった際は丁寧な案内(事業所の特色、認知症ケアの取り組み、料金説明)を心がけ、可能な限りご要望に応えられるように努めている。入居希望時には、事前に情報収集の機会を設ける等安心して入居して頂ける様に努めている。また、必要であれば体験入居も受け付けている。	施設見学の希望があった際は丁寧な案内(事業所の特色、認知症ケアの取り組み、料金説明)を心がけ、可能な限りご要望に応えられるように努めている。入居希望時には、事前に情報収集の機会を設ける等安心して入居して頂ける様に努めている。また、必要であれば体験入居も受け付けている。	施設見学の希望があった際は丁寧な案内(事業所の特色、認知症ケアの取り組み、料金説明)を心がけ、可能な限りご要望に応えられるように努めている。入居希望時には、事前に情報収集の機会を設ける等安心して入居して頂ける様に努めている。また、必要であれば体験入居も受け付けている。	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、 家族等が困っていること、不安なこと、 要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設入居を希望されるご家族には施設の運営規程を十分説明を行うと共に、ご家族の不安や要望を伺い、良い関係を築けるように努めている。また、どのように過ごされているか等の様子を電話や面会時に報告している。また、毎月写真送付する等工夫を行っている。	施設入居を希望されるご家族には施設の運営規程を十分説明を行うと共に、ご家族の不安や要望を伺い、良い関係を築けるように努めている。また、どのように過ごされているか等の様子を電話や面会時に報告している。また、毎月写真送付する等工夫を行っている。	施設入居を希望されるご家族には施設の運営規程を十分説明を行うと共に、ご家族の不安や要望を伺い、良い関係を築けるように努めている。また、どのように過ごされているか等の様子を電話や面会時に報告している。また、毎月写真送付する等工夫を行っている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、 本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前にご本人、ご家族と面談して、情報収集(ADLや支援の状況確認)やご本人とご家族の意向を伺い、必要であれば他サービスを取り入れた支援が出来る様に努めている。	入居前にご本人、ご家族と面談して、情報収集(ADLや支援の状況確認)やご本人とご家族の意向を伺い、必要であれば他サービスを取り入れた支援が出来る様に努めている。	入居前にご本人、ご家族と面談して、情報収集(ADLや支援の状況確認)やご本人とご家族の意向を伺い、必要であれば他サービスを取り入れた支援が出来る様に努めている。	

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の準備や片付け、掃除等の家事作業をご入居の方々に参加頂き、職員だけでなく、ご入居者と協力し合える環境づくりに努めている。	食事の準備や片付け、掃除等の家事作業をご入居の方々に参加頂き、職員だけでなく、ご入居者と協力し合える環境づくりに努めている。	食事の準備や片付け、掃除等の家事作業をご入居の方々に参加頂き、職員だけでなく、ご入居者と協力し合える環境づくりに努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人とご家族の交流を深めたり、ご家族面会時は、ゆっくり寛いで話が出来る環境に配慮している。また、必要時は外出等の支援や面会の依頼をお願いする事がある。	ご本人とご家族の交流を深めたり、ご家族面会時は、ゆっくり寛いで話が出来る環境に配慮している。また、必要時は外出等の支援や面会の依頼をお願いする事がある。	ご本人とご家族の交流を深めたり、ご家族面会時は、ゆっくり寛いで話が出来る環境に配慮している。また、必要時は外出等の支援や面会の依頼をお願いする事がある。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	友人や知人の面会もあり、天候が良い日は近所を散歩している。また、買い物や外出等本人のやりたい事(行きたい場所)を聞き取り、その実現に向けた個別の取り組みを行っている。	友人や知人の面会もあり、天候が良い日は近所を散歩している。また、買い物や外出等本人のやりたい事(行きたい場所)を聞き取り、その実現に向けた個別の取り組みを行っている。	友人や知人の面会もあり、天候が良い日は近所を散歩している。また、買い物や外出等本人のやりたい事(行きたい場所)を聞き取り、その実現に向けた個別の取り組みを行っている。	面会が多い。家族の協力で外出、外食に出掛けられている。利用者の中に生け花の先生がおられ、月1回自宅に帰り生け花教室を開き生徒に指導され励みにされている。携帯電話持参の方は自分で情報交換され、他の方は電話の取次も行われている。	

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日頃から生活機能向上訓練やレクリエーション等を通じて入居者様同士が関わり合える環境を目指している。入居者間のトラブルに関しては職員が間に入り、孤立しない関わりや入居者同士が支えるような環境づくりに努めている。	日頃から生活機能向上訓練やレクリエーション等を通じて入居者様同士が関わり合える環境を目指している。入居者間のトラブルに関しては職員が間に入り、孤立しない関わりや入居者同士が支えるような環境づくりに努めている。	日頃から生活機能向上訓練やレクリエーション等を通じて入居者様同士が関わり合える環境を目指している。入居者間のトラブルに関しては職員が間に入り、孤立しない関わりや入居者同士が支えるような環境づくりに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居や転居された後でも、必要に応じて相談や助言が出来るように努めている。	退居や転居された後でも、必要に応じて相談や助言が出来るように努めている。	退居や転居された後でも、必要に応じて相談や助言が出来るように努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の会話や表情からご入居者一人一人の想いを把握したり直接ご本人より聞き取り、サービス担当者会議時に話し合い、本人本位の支援を検討している。	日頃の会話や表情からご入居者一人一人の想いを把握したり直接ご本人より聞き取り、サービス担当者会議時に話し合い、本人本位の支援を検討している。	日頃の会話や表情からご入居者一人一人の想いを把握したり直接ご本人より聞き取り、サービス担当者会議時に話し合い、本人本位の支援を検討している。	職員は担当制である。利用者間のトラブルについては双方に寄り添い、話を聞き観察し原因を探す。事業所で解決できない場合は家族の協力を得ている。日頃見慣れぬ様子の変化についてはタブレットに納められ共有している。	

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人との会話だけでなく、ご家族にもご本人の生活歴等をお聞きし、これまでの暮らしを把握して支援方法の一つとして検討している。	ご本人との会話だけでなく、ご家族にもご本人の生活歴等をお聞きし、これまでの暮らしを把握して支援方法の一つとして検討している。	ご本人との会話だけでなく、ご家族にもご本人の生活歴等をお聞きし、これまでの暮らしを把握して支援方法の一つとして検討している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご入居者一人一人の現状把握や状況を些細な事でも日々の記録として残し、職員が業務日誌と併用して記録を閲覧して把握出来る様に努めている。	ご入居者一人一人の現状把握や状況を些細な事でも日々の記録として残し、職員が業務日誌と併用して記録を閲覧して把握出来る様に努めている。	ご入居者一人一人の現状把握や状況を些細な事でも日々の記録として残し、職員が業務日誌と併用して記録を閲覧して把握出来る様に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご入居者それぞれに担当者を決めて、必要時にモニタリングやケア会議を行い、新たな課題がないか検討すると共に、サービス担当者会議を定期的開催し、ケアの在り方について話し合いを行いケアプランを作成している。	ご入居者それぞれに担当者を決めて、必要時にモニタリングやケア会議を行い、新たな課題がないか検討すると共に、サービス担当者会議を定期的開催し、ケアの在り方について話し合いを行いケアプランを作成している。	ご入居者それぞれに担当者を決めて、必要時にモニタリングやケア会議を行い、新たな課題がないか検討すると共に、サービス担当者会議を定期的開催し、ケアの在り方について話し合いを行いケアプランを作成している。	担当者会議に家族の参加がある。計画は面会時や電話で聞き取りされた要望や日々の様子の記録、利用者の体力、残存機能も参考に作成される。期間内に変更がある時にはその時点に変更し、解りやすく家族に説明される。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアの中で気づき等があれば些細な事でも個人記録等に残し、ケアプランの見直しに活かしている。	ケアの中で気づき等があれば些細な事でも個人記録等に残し、ケアプランの見直しに活かしている。	ケアの中で気づき等があれば些細な事でも個人記録等に残し、ケアプランの見直しに活かしている。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族のご面会時に話を聞いたりして、対応が必要な事項については、その時々で臨機応変に対応できるように努めている。また、ご面会の多い土日にも柔軟な対応が出来るよう職員の配置を心掛けている。	ご家族のご面会時に話を聞いたりして、対応が必要な事項については、その時々で臨機応変に対応できるように努めている。また、ご面会の多い土日にも柔軟な対応が出来るよう職員の配置を心掛けている。	ご家族のご面会時に話を聞いたりして、対応が必要な事項については、その時々で臨機応変に対応できるように努めている。また、ご面会の多い土日にも柔軟な対応が出来るよう職員の配置を心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	趣味活動に外出(ドライブレクリエーション等)、家族との外出(外食等)が楽しめる環境作りを心がけている。外出が困難な方には、近隣の散歩等外に出て気分転換ができる関わりを行い、ご入居者が楽しむ事が出来る様に支援している。	趣味活動に外出(ドライブレクリエーション等)、家族との外出(外食等)が楽しめる環境作りを心がけている。外出が困難な方には、近隣の散歩等外に出て気分転換ができる関わりを行い、ご入居者が楽しむ事が出来る様に支援している。	趣味活動に外出(ドライブレクリエーション等)、家族との外出(外食等)が楽しめる環境作りを心がけている。外出が困難な方には、近隣の散歩等外に出て気分転換ができる関わりを行い、ご入居者が楽しむ事が出来る様に支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医がある場合は、ご家族の協力の下、継続して受診が出来る様に支援している。また、法人内では協力医療機関や訪問看護があり、連携を取り適切な医療を受けて頂ける様に支援している。	かかりつけ医がある場合は、ご家族の協力の下、継続して受診が出来る様に支援している。また、法人内では協力医療機関や訪問看護があり、連携を取り適切な医療を受けて頂ける様に支援している。	かかりつけ医がある場合は、ご家族の協力の下、継続して受診が出来る様に支援している。また、法人内では協力医療機関や訪問看護があり、連携を取り適切な医療を受けて頂ける様に支援している。	家族、利用者の希望で受診が出来る。かかりつけ医には家族の協力での受診である。訪問診療もある。協力医療機関受診の際には送迎があり検査が行われる等健康管理されている。協力医以外でも訪問診療を受ける事は可能である。母体が病院で医師、訪問看護、薬剤師、理学療法士と密接な関係を大切にし医療体制は出来ており家族も職員も心強い。	

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の状態観察を行い、異常があれば直ぐに担当医師・訪問看護師に報告し、適切な受診や看護を受けられる様に支援している。	日々の状態観察を行い、異常があれば直ぐに担当医師・訪問看護師に報告し、適切な受診や看護を受けられる様に支援している。	日々の状態観察を行い、異常があれば直ぐに担当医師・訪問看護師に報告し、適切な受診や看護を受けられる様に支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関関係者と情報交換を行い、状況を把握して早期退院が出来る様に努めている。また、協力医療機関の朝礼等に参加する等日頃より関係者との関係作りを行っている。	協力医療機関関係者と情報交換を行い、状況を把握して早期退院が出来る様に努めている。また、協力医療機関の朝礼等に参加する等日頃より関係者との関係作りを行っている。	協力医療機関関係者と情報交換を行い、状況を把握して早期退院が出来る様に努めている。また、協力医療機関の朝礼等に参加する等日頃より関係者との関係作りを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化や終末期についての事業所の指針を説明している。重度化や終末期に改めてご入居者、ご家族の意向を確認し、状態変化に応じて随時意向確認を行い、ご家族・主治医・訪問看護・施設職員が連携してご本人の望む支援が出来る様に努めている。	入居時に重度化や終末期についての事業所の指針を説明している。重度化や終末期に改めてご入居者、ご家族の意向を確認し、状態変化に応じて随時意向確認を行い、ご家族・主治医・訪問看護・施設職員が連携してご本人の望む支援が出来る様に努めている。	入居時に重度化や終末期についての事業所の指針を説明している。重度化や終末期に改めてご入居者、ご家族の意向を確認し、状態変化に応じて随時意向確認を行い、ご家族・主治医・訪問看護・施設職員が連携してご本人の望む支援が出来る様に努めている。	入居時に重度化、終末期の説明を行い同意を得ている。看取りの経験はないが研修は行われ、体制は出来ている。エンゼルケアは訪問看護、職員、希望があれば家族と行いお見送りをされる。家族の泊まりも可能である。良い最期を迎えられるよう出来る限り寄り添い支援されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部研修会、訓練の参加や、緊急時対応マニュアル及び訪問看護連絡マニュアルを整備して、事故発生時に実践出来る様に努めている。	外部研修会、訓練の参加や、緊急時対応マニュアル及び訪問看護連絡マニュアルを整備して、事故発生時に実践出来る様に努めている。	外部研修会、訓練の参加や、緊急時対応マニュアル及び訪問看護連絡マニュアルを整備して、事故発生時に実践出来る様に努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月の防火チェックや年2回の防火訓練を行い、災害時に迅速な対応が出来る様に職員へ指導をしている。また、訓練の際には地域の協力を得られる様に声かけをしている。	毎月の防火チェックや年2回の防火訓練を行い、災害時に迅速な対応が出来る様に職員へ指導をしている。また、訓練の際には地域の協力を得られる様に声かけをしている。	毎月の防火チェックや年2回の防火訓練を行い、災害時に迅速な対応が出来る様に職員へ指導をしている。また、訓練の際には地域の協力を得られる様に声かけをしている。	年2回消防署と防災会社立ち合いで夜間想定訓練を3ユニット合同で行い、職員へはグループラインを使用し災害状況の連絡を行う。区長、民生委員、利用者の参加がある。1次避難場所は日頃の散歩コースの公民館であり、距離や所要時間は確認されている。地域の参加や地震対策は法人で検討中である。備蓄は各ユニットで確保されている。	

Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご入居者の人格の尊重とプライバシーに配慮した言葉かけや対応を心がけると共に、敬意を表した対応を心がけている。また、定期的に接遇の勉強会を開催している。	ご入居者の人格の尊重とプライバシーに配慮した言葉かけや対応を心がけると共に、敬意を表した対応を心がけている。また、定期的に接遇の勉強会を開催している。	ご入居者の人格の尊重とプライバシーに配慮した言葉かけや対応を心がけると共に、敬意を表した対応を心がけている。また、定期的に接遇の勉強会を開催している。	接遇研修がある。トイレ、入浴の際に配慮し、常に言葉使い、大声、声のトーンに気を配り、利用者に合わせた対応がされている。方言も用途に合わせて上手く使い分け、わかり易く伝わっている。個人情報の取り扱いや保管について職員は理解している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃からご入居者の話を伺い、ご入居者の希望や要望に沿った生活が出来る様に働きかけている。	日頃からご入居者の話を伺い、ご入居者の希望や要望に沿った生活が出来る様に働きかけている。	日頃からご入居者の話を伺い、ご入居者の希望や要望に沿った生活が出来る様に働きかけている。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者の体調やペースに合わせ、その都度ご本人の意向を確認しながら希望に沿った支援が出来る様に努めている。	ご入居者の体調やペースに合わせ、その都度ご本人の意向を確認しながら希望に沿った支援が出来る様に努めている。	ご入居者の体調やペースに合わせ、その都度ご本人の意向を確認しながら希望に沿った支援が出来る様に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月訪問理美容の方に来訪頂き、カット・カラー・パーマをご利用頂いている。	毎月訪問理美容の方に来訪頂き、カット・カラー・パーマをご利用頂いている。	毎月訪問理美容の方に来訪頂き、カット・カラー・パーマをご利用頂いている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食前には食器等の準備、食後の片付け、テーブル拭き等出来る範囲の事は一緒に行っている。おやつを一緒に手作りする事もある。	食前には食器等の準備、食後の片付け、テーブル拭き等出来る範囲の事は一緒に行っている。おやつを一緒に手作りする事もある。	食前には食器等の準備、食後の片付け、テーブル拭き等出来る範囲の事は一緒に行っている。おやつを一緒に手作りする事もある。	炊飯はホームで行い、食材は外注である。利用者は出来る範囲で手伝っている。行事食は季節に合わせた対応がされている。それぞれが食べ易いような食事形態にされている。料理教室が開催され包丁を使い、干し柿やおやつ作りを楽しみ、自信に繋がっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態に合わせた食事形態や食事量を随時検討して、一覧表を作成している。また、水分・食事摂取量のチェック表を作成して、栄養バランスが把握できる様にしている。	一人一人の状態に合わせた食事形態や食事量を随時検討して、一覧表を作成している。また、水分・食事摂取量のチェック表を作成して、栄養バランスが把握できる様にしている。	一人一人の状態に合わせた食事形態や食事量を随時検討して、一覧表を作成している。また、水分・食事摂取量のチェック表を作成して、栄養バランスが把握できる様にしている。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、ご入居者一人一人に歯磨きの声かけを行い、状態に合わせた個別ケアを行っている。必要時は訪問歯科を利用して口腔内の確認を行っている。	毎食後、ご入居者一人一人に歯磨きの声かけを行い、状態に合わせた個別ケアを行っている。必要時は訪問歯科を利用して口腔内の確認を行っている。	毎食後、ご入居者一人一人に歯磨きの声かけを行い、状態に合わせた個別ケアを行っている。必要時は訪問歯科を利用して口腔内の確認を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別に排泄の記録を行い排泄パターンを把握、オムツを使用しない工夫を検討してトイレにて排泄が行えるように工夫している。	個別に排泄の記録を行い排泄パターンを把握、オムツを使用しない工夫を検討してトイレにて排泄が行えるように工夫している。	個別に排泄の記録を行い排泄パターンを把握、オムツを使用しない工夫を検討してトイレにて排泄が行えるように工夫している。	自立出来ている方、合図を出される方もある。排泄パターンを使い誘導し自立に繋げている。パンツを適正に使い分け負担の軽減にも役に立っている。夜間はポータブルトイレ使用の方もあり、安全確認のためベッドにセンサーが取り付けられている。羞恥心にも配慮されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ薬には頼らず、水分補給時には乳製品を提供する等の工夫をしている。また、水分摂取量の記録チェックを行い、不足時はその都度声かけや嗜好品の摂取を行っている。	出来るだけ薬には頼らず、水分補給時には乳製品を提供する等の工夫をしている。また、水分摂取量の記録チェックを行い、不足時はその都度声かけや嗜好品の摂取を行っている。	出来るだけ薬には頼らず、水分補給時には乳製品を提供する等の工夫をしている。また、水分摂取量の記録チェックを行い、不足時はその都度声かけや嗜好品の摂取を行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決まっているが、一人一人の体調を見て入浴日を変更したり、午前と午後を入れ替える等、その方に応じた入浴の支援を行っている。また、入浴日の順番が変わる様にも工夫している。	入浴日は決まっているが、一人一人の体調を見て入浴日を変更したり、午前と午後を入れ替える等、その方に応じた入浴の支援を行っている。また、入浴日の順番が変わる様にも工夫している。	入浴日は決まっているが、一人一人の体調を見て入浴日を変更したり、午前と午後を入れ替える等、その方に応じた入浴の支援を行っている。また、入浴日の順番が変わる様にも工夫している。	入浴は週2回。体調や気分で入浴されている。介助なしで入浴される方があり、職員は脱衣室で待機し見守っている。衣類の着脱の出来る方は見守り、職員が身繕いを手伝っている。日曜日は入浴剤を使い気分転換の風呂の日と決めている。風呂上りには保湿クリームを使用される。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご入居者の状態に応じて休息を促している。自室で休まれる時には室温調整や乾燥しない様に加湿器を作動させ、気持ちよく眠れるように支援している。	ご入居者の状態に応じて休息を促している。自室で休まれる時には室温調整や乾燥しない様に加湿器を作動させ、気持ちよく眠れるように支援している。	ご入居者の状態に応じて休息を促している。自室で休まれる時には室温調整や乾燥しない様に加湿器を作動させ、気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	専用ファイルに薬の情報書を挟み、いつでも職員が確認出来る様にしている。また、内服薬の変更・追加時はその都度協力医療機関の看護師や薬局の薬剤師より説明を受けている。服薬介助する際は職員2名で確認して誤薬防止に努めている。	専用ファイルに薬の情報書を挟み、いつでも職員が確認出来る様にしている。また、内服薬の変更・追加時はその都度協力医療機関の看護師や薬局の薬剤師より説明を受けている。服薬介助する際は職員2名で確認して誤薬防止に努めている。	専用ファイルに薬の情報書を挟み、いつでも職員が確認出来る様にしている。また、内服薬の変更・追加時はその都度協力医療機関の看護師や薬局の薬剤師より説明を受けている。服薬介助する際は職員2名で確認して誤薬防止に努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの生活歴や能力に応じて出来る事を見極め、張り合いや喜びを持って生活出来る様に役割分担したり、気分転換出来る様に努めている。	今までの生活歴や能力に応じて出来る事を見極め、張り合いや喜びを持って生活出来る様に役割分担したり、気分転換出来る様に努めている。	今までの生活歴や能力に応じて出来る事を見極め、張り合いや喜びを持って生活出来る様に役割分担したり、気分転換出来る様に努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近場の買い物や外出については、希望に沿って支援している。遠方への外出や地域行事等にはご家族や地域の方々の協力を頂きながら実施している。	近場の買い物や外出については、希望に沿って支援している。遠方への外出や地域行事等にはご家族や地域の方々の協力を頂きながら実施している。	近場の買い物や外出については、希望に沿って支援している。遠方への外出や地域行事等にはご家族や地域の方々の協力を頂きながら実施している。	年間計画はあるが多くの外出は無い。遠方、近場と好みがある。近くの神社や桜見学の散歩がある。利用者からの希望は多くなく季節に合わせ「出掛けよう」と声掛けをしている。日光浴や気分転換をし季節を感じて楽しまれている。計画的な外出が出来る事を望まれている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理出来る方に関しては、小額を持たれている。外出の際には買い物もされている。	自己管理出来る方に関しては、小額を持たれている。外出の際には買い物もされている。	自己管理出来る方に関しては、小額を持たれている。外出の際には買い物もされている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望・要望時は電話をかけたり、手紙のやり取りが出来る様に支援している。	希望・要望時は電話をかけたり、手紙のやり取りが出来る様に支援している。	希望・要望時は電話をかけたり、手紙のやり取りが出来る様に支援している。		

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾りつけ等をしたり、観葉植物を育てたり、置いたりして居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、トイレや洗面所・食堂等の共用空間の環境整備にも努めている。	季節に応じた飾りつけ等をしたり、観葉植物を育てたり、置いたりして居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、トイレや洗面所・食堂等の共用空間の環境整備にも努めている。	季節に応じた飾りつけ等をしたり、観葉植物を育てたり、置いたりして居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、トイレや洗面所・食堂等の共用空間の環境整備にも努めている。	日中はリビングで過ごす方が多い。東側は総ガラスで朝日が入り、傍の道は通学路で子供に手を振り合っている。奥にはサンルームがあり、外気や風を浴びることが出来る。2組の夫婦の入居者がある。新聞たたみや、お互い新聞を交換しながら読んでいる。廊下には利用者の日頃の様子の子の多くの写真や、介護安心相談便りが掲示され、手作りのカレンダーや季節の作品が多い。利用者は昼食後懐かしい歌で楽しく盛り上っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	折りたたみいすを設置したり、他居室への移動をを希望される際に、移動の支援をする等それぞれ好きな場所で過ごせるようにしている。	折りたたみいすを設置したり、他居室への移動をを希望される際に、移動の支援をする等それぞれ好きな場所で過ごせるようにしている。	折りたたみいすを設置したり、他居室への移動をを希望される際に、移動の支援をする等それぞれ好きな場所で過ごせるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れた家具等を持ってきて頂き、居心地よく過ごせる工夫をしている。また、定期的にご本人やご家族の意向を聞きながら、必要な方には居室の模様替えを手伝っている。各居室に行事写真や家族写真を飾り思い出の写真等を観て楽しんで頂ける様にしている。	自宅で使い慣れた家具等を持ってきて頂き、居心地よく過ごせる工夫をしている。また、定期的にご本人やご家族の意向を聞きながら、必要な方には居室の模様替えを手伝っている。各居室に行事写真や家族写真を飾り思い出の写真等を観て楽しんで頂ける様にしている。	自宅で使い慣れた家具等を持ってきて頂き、居心地よく過ごせる工夫をしている。また、定期的にご本人やご家族の意向を聞きながら、必要な方には居室の模様替えを手伝っている。各居室に行事写真や家族写真を飾り思い出の写真等を観て楽しんで頂ける様にしている。	廊下には障害物も無い。居室内の掃除は職員と利用者の出来る範囲で行われ、整理整頓出来、心地良い住まいとなっている。ホーム内は落ち着いた色で名札もキッチンと掲げている。持ち込みは自由である。夫婦の方々はお互いに行き来されている。	

自己	外部	項 目	自己評価(ユニット名／A)	自己評価(ユニット名／B)	自己評価(ユニット名／C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差のない造り、手すりの設置・時計・日めくりカレンダーの設置等、居室・共有スペースに工夫を行い必要に応じた環境作りを行っている。	段差のない造り、手すりの設置・時計・日めくりカレンダーの設置等、居室・共有スペースに工夫を行い必要に応じた環境作りを行っている。	段差のない造り、手すりの設置・時計・日めくりカレンダーの設置等、居室・共有スペースに工夫を行い必要に応じた環境作りを行っている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)						
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します						
項 目		取 り 組 み の 成 果				
		↓該当するものに○印をつけてください				
		ユニットA	ユニットB	ユニットC		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者の	
					2. 利用者の2/3くらいの	
					3. 利用者の1/3くらいの	
					4. ほとんど掴んでいない	
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	○	1. 毎日ある	
					2. 数日に1回程度ある	
					3. たまにある	
					4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
					2. 利用者の2/3くらいが	
					3. 利用者の1/3くらいが	
					4. ほとんどいない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
					2. 利用者の2/3くらいが	
					3. 利用者の1/3くらいが	
					4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)				1. ほぼ全ての利用者が	
					2. 利用者の2/3くらいが	
		○	○	○	3. 利用者の1/3くらいが	
					4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
					2. 利用者の2/3くらいが	
					3. 利用者の1/3くらいが	
					4. ほとんどいない	

項 目		取 り 組 み の 成 果			
		↓ 該当するものに○印をつけてください			
		ユニットA	ユニットB	ユニットC	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	○	1. ほぼ全ての家族と
					2. 家族の2/3くらいと
					3. 家族の1/3くらいと
					4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)				1. ほぼ毎日のように
					2. 数日に1回程度ある
		○	○	○	3. たまに
					4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)				1. 大いに増えている
		○	○	○	2. 少しずつ増えている
					3. あまり増えていない
					4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○		○	1. ほぼ全ての職員が
			○		2. 職員の2/3くらいが
					3. 職員の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。				1. ほぼ全ての利用者が
		○	○	○	2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。				1. ほぼ全ての家族等が
		○	○	○	2. 家族等の2/3くらいが
					3. 家族等の1/3くらいが
					4. ほとんどいない